



山本 悍右

YAMAMOTO Kansuke

代表作

『夜の噴水』（1938～1939 年）
『VOU』（1939～1978 年）
『バタフライ』
（1970 年／名古屋豆本／亀山巖 刊行）

以下写真作品

「或る人間の思想の発展…霧と寝室」
（1932 年／名古屋市美術館 所蔵）
「伽藍の鳥籠」
（1940 年／シカゴ美術館 所蔵）
「伽藍の鳥籠」のヴァリエーション
（1940 年／名古屋市美術館 所蔵）
「漂流記」
（1949 年／J・ポール・ゲティ美術館 所蔵）
ほか多数

活動略歴

1914 年 名古屋市生まれ。本名は勘助。生家は名古屋広小路で写真機械店と写真館を営む。

1929 年 名古屋市立第二商業学校を卒業後上京。アテネ・フランセでフランス語を学んだ後、明治大学仏文科でフランス詩を修学するも、約 1 年後名古屋に戻る。

1930 年頃 詩作を開始。ダダイズム、シュルレアリスムといった芸術理論に傾倒、その表現手段として 1931 年頃から写真を始める。

1932 年 「独立寫真研究會」の会誌『獨立』に写真によるコラージュ作品「或る人間の思想と発展…霧と寝室」を発表。

1938 年 山中散生 江間章子 北園克衛 村野四郎らと『夜の噴水』を編輯。

1939 年 「ナゴヤ・フォトアバンガルド」に参加するも翌年退会。

同時期詩人・北園克衛が主催する「VOU」および「VOU 形象展」に 1978 年の解散まで『VOU』誌上で詩や作品を発表。戦後も前衛写真家集団など多数結成。

1987 年 没。

参考／『写真展シュルレアリスト山本悍右—不可能の伝達者』
千葉一幹・著（2003 東京大学出版会 刊）

YAMAMOTO Kansuke (1914 – 1987/ Genre ; Poets, Photographer)

Born in Nagoya City. From the early 1930s to the 1980s, he pursued avant-garde photographic expression with a sharp eye for social criticism, and was active as a pioneer of surrealist photography in Japan.

His photographic techniques and methods were diverse. He was a member of Kitazono Kaei's avant-garde poet group "VOU," and continued to publish his photographs, poems, and other works until the group's disbandment in 1978. His photographs are so famous that they have been exhibited around the world, but his only remaining handwritten work is "Butterfly," published by "Nagoya MAME HON" Series.

ジャンル / 詩

poetry

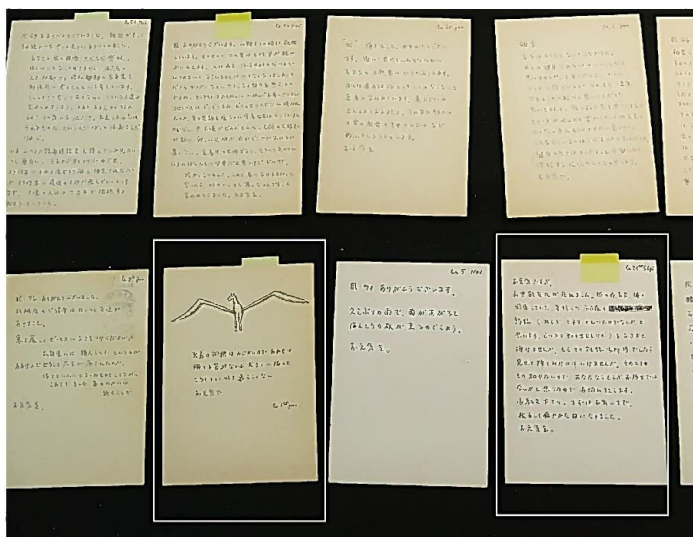
名古屋市収蔵の資料

／山本悍右

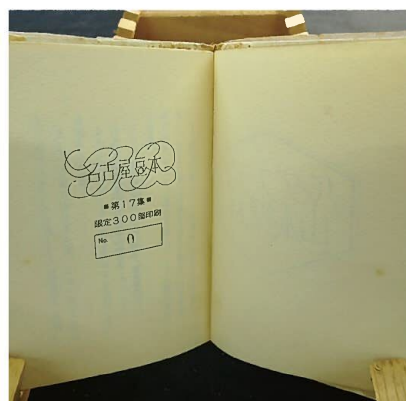
(一部掲載；収蔵先 文化のみち二葉館)

Collection related to YAMAMOTO Kansuke in Nagoya City.
Storage location: Cultural Path Futaba Museum,
City of Nagoya.

←『夜の噴水』
シュルレアリスム詩誌として誕生。
警察の検閲により1939年第4号に
て終刊。



↑山本悍右氏からの葉書。囲み左は悍右氏のイラスト付き。
囲み右には「山中散生が死にました。cineのころのことを
聞かせて欲しい、冊子があれば見せて欲しい」とある。



↑亀山巖氏発行の名古屋豆本シリーズ中の
1冊『バタフライ』。山本悍右氏は文章を
掲載した単独書籍を発行していない。
(写真集・同人冊子にはあり) 300冊中の
「0」番。

上記資料の閲覧を希望される方は、[文化芸術推進課](#)または[文化のみち二葉館](#)までお問い合わせください。
なお、学術研究または教育普及目的の場合にのみ閲覧が可能で、所定の手続きが必要です。